

成長出来たことと1人暮らし高齢者に対する提案

活動先：NPO 法人 ふれあいネットワーク美浜
クラス：原田 正樹 先生

リフレクションシートを読み返したり、活動報告書をふりかえったりして自分が成長したと思うことは、高齢者の方とのコミュニケーションについてと、文章をまとめる力、企画して取り組む力である。気付いたことはNPOが今までのイメージとかなり変わっていたことである。

高齢者とのコミュニケーションの方法については、ずっと実際に経験して学びたいと思っていた。何を話したらいいのか、どういう風に話したら伝わるのか、楽しんでもらえるのか、考えながら話したり、代表の方にアドバイスをもらったりして、実際に活動させてもらった。そこで大きな声でゆっくり話す、若者言葉で話をしない、高い声で話をしない、目を見て話をする、昔その人が得意としていたことや子供のころの話を話題にする等、自分なりにコミュニケーション方法について学ぶことができた。高齢者だけではなく、目の不自由な高齢者の方の送迎にも付き添わせてもらい、目の不自由な方には歩く速さを合わせる、視覚から分かる情報は細かく説明してわかりやすいようにするということを学んだ。そして、人生の先輩として、尊敬の意を持って接しその人の人生から何か学ばせてもらう態度が必要だと学んだ。

また、発表、報告書作成等、サービスマーケティングで多くレポート等作ってきた。文章を書くのはあまり得意ではなかったが、4月当初に比べて少しは成長したかなと思う。一番困ったのが、うまく伝えたいことが文章にまとめることができないということだった。何を本当に伝えたいのかがあいまいなまま文章を書いてしまうので、はじめと最後の結論がずれてしまったり、相手に伝わりにくい文章になってしまったりということがよくあった。発表でも人前で発表することに慣れておらず、早口になってしまったり、小声になってしまったりがあった。しかし、サービスマーケティングでよく発表をしたり文章を書く場があったので、文章を書くことと発表することに1年の時より慣れることができたと思う。

そして、企画して取り組むという事は今まで一度もしたことが無かったので自分にとっていい経験だったと思う。プログラムをする際に難しかったのは、自分達が何をしたいのかではなく、利用者の方が何を考えて何を求めているのかという事を念頭に置いて考えることだった。自分達のしたいことだけならたくさん出てくるが、それが何の目的なのかという理由がでてこず、利用者の事をもっと事前学習のときに知っておくべきだったと感じた。実際プログラムを行ったときにちぎりは行おうのが難しかったが、他の企画は成功したので、良かったと思う。高齢者全員が取り組むことができるような企画を考えることの難しさ、それを実行するための段取りなど学ぶことができた。

気付いたことは自分のNPOのイメージがかなり変わっていた事だ。バスツアー等行く前は、NPOについて全然知らず、NPOに対してお堅い組織というイメージを持っていたようだった。しかし、1年を通してNPOと関わらせてもらい、NPOはたくさんの分野で

活動している事、地域に密着して行政の届かないところの支援もしている事など学び、自分の活動先の影響もあるかもしれないが、明るいイメージに変わり地域の発展に必要な存在ではないかと思うようになった。

NPO での活動を通して見えてきた社会課題は高齢者が一人で生活しにくい社会になっている事である。

一人暮らしの高齢者で車を持っていない高齢者や、足腰が丈夫でない高齢者は買い物に行く事は負担になる。また、病院への通院も負担になる。バスや電車の交通手段がしっかりしているといいが、田舎だとそうはいかないだろう。実際、私が活動した美浜町は大学生でも車が無ければ不便だと感じる。施設に入っていない自宅暮らしの高齢者にはなおさら暮らしにくいと考える。また、活動中に利用者の方からさびしいという声を聞いた。何もすることが無くずっと一人きりというのは想像以上に孤独を感じるものだと思う。

提案としては、送迎サービスを市や町、NPO で積極的にする、高齢者の人たちが集まりやすい公民館などでお茶会をする等どうかと思う。

送迎サービスは難しいかもしれないが、ワンコインや無料だと高齢者の人たちにも地域の人たちにも利用しやすいと考える。また、買い物のサービスもいいかと思う。あらかじめメモをもらって買い物を代行する。それならば実現しやすいかと思う。高齢者の人たちが集まりやすい場所でのお茶会もいいのではと思う。大々的なのではなくても自分の家で作った料理を持ち寄って話をしたり、編み物や折り紙を折ったりすると、一人ではないという事で孤独感も少しは薄れるのではないだろうか。ペンフレンドみたいな感覚で高齢者の方と文通するのも新鮮かもしれない。

将来皆高齢者になっていくので、早く高齢者福祉の問題を解決し皆が住みよい社会に近付いていけばと思う。

サービスラーニングでたくさんの NPO について学ぶことができたし、実際に活動先に訪問して企画をプログラムし、取り組むという貴重な経験をすることができた。意見交流でたくさんの意見を聞いて視野も広げることができた。文章をたくさん書き、発表する内容を自分で考えたり、グループで考えたりすることができた。また、企画のちぎり絵は利用者の方々が細かい作業が苦手で参加しにくかった。これからの大学生活でどのような企画をしたら高齢者の方だれでも楽しんでもらえるのか考えてみたいと思う。NPO についてももっと理解を深めていけたらと思う。サービスラーニングでした経験や学んだことをこれからの大学の学びに活かしていきたいと思った。

最後に、忙しい中、私たちの活動に紳士的に協力してくれた活動先のスタッフの方、たくさんお話をしてくれた利用者の方に本当にありがとうという気持であるという事を伝えたいと思う。今回学ばせてもらった事を大切にしたいと思う。ありがとうございました。